

ワールドマスタースゲームズ2021関西
エントリーシステム構築及び保守運営業務

調 達 仕 様 書(案)

2017 年 7 月

一般財団法人関西ワールドマスタースゲームズ 2021 組織委員会

目 次

| | |
|-----------------------------|-----------|
| I 基本方針 ----- | 3 |
| I. 1 業務の名称 | 3 |
| I. 2 業務の目的 | 3 |
| I. 3 履行期間 | 3 |
| I. 4 調達範囲 | 3 |
| I. 5 システムの概要 | 4 |
| I. 6 スケジュール | 7 |
| II システム機能要件 ----- | 8 |
| II. 1 大会エントリー機能 | 8 |
| II. 2 競技エントリー機能 | 8 |
| II. 3 ボランティアエントリー支援機能 | 8 |
| II. 4 マイページ機能 | 9 |
| II. 5 コミュニティページ機能 | 9 |
| II. 6 入金管理機能 | 9 |
| II. 7 各種帳票等公開機能 | 10 |
| II. 8 運営管理機能 | 10 |
| II. 9 大会受付機能 | 11 |
| II. 10 競技受付機能 | 12 |
| II. 11 その他 | 12 |
| III システム非機能要件 ----- | 13 |
| III. 1 データセンター | 13 |
| III. 2 ネットワーク | 13 |
| III. 3 システム構成 | 14 |
| III. 4 端末 | 14 |
| III. 5 ウェブアクセシビリティ | 15 |
| III. 6 セキュリティ対策 | 15 |
| IV 運営サポート ----- | 15 |
| IV. 1 動作確認テスト | 15 |
| IV. 2 システム保守・運用支援体制 | 16 |
| IV. 3 教育 | 16 |
| IV. 4 本番大会運営支援 | 17 |
| V 納入関係 ----- | 17 |
| VI 特記事項 ----- | 18 |
| VI. 1 再委託 | 18 |
| VI. 2 システム構築環境 | 18 |
| VI. 3 瑕疵担保責任 | 18 |
| VI. 4 知的財産権 | 19 |

| | |
|----------------------|----|
| VI 5 機密保持 | 19 |
| VI 6 個人情報について | 19 |
| VI 7 本業務終了後の扱い | 19 |
| VI 8 その他 | 19 |

I 基本方針

I. 1 業務の名称

ワールドマスターズゲームズ2021関西エントリーシステム構築及び保守運營業務
(以下「本業務」という。)

I. 2 業務の目的

本業務は、2021年にアジアで初開催のワールドマスターズゲームズ2021関西大会(以下「本大会」という。)において、参加者等のエントリーを受け付けるためのフォームを作成し、各参加者のエントリー情報データを厳重に管理する。また、大会当日における大会受付時にはエントリー情報データを基にIDカードを作成する機能を保持することなど、本大会がスムーズに運用できるよう補助するシステムの構築を目的とする。

I. 3 履行期間

契約締結日から2021年6月30日までとする

I. 4 調達範囲

本仕様書で求める要件及び機能を実現するためのシステムの開発、データセットアップ作業、本番大会を想定した動作確認のテスト及びシステム稼働環境一式の提供。また、当日受付に必要な受付関連OA機器の調達、配送、設置、動作確認までを本調達の範囲とする。

- (1) プロジェクト管理
 - ・プロジェクト管理計画書の策定
 - ・進捗管理表の策定
- (2) システム開発(プログラム設計(既存システムのカスタマイズ含む)、製作、単体テスト)
 - ・エントリーシステム(大会・競技・ボランティア)
 - ・コミュニティシステム
 - ・事務局システム
 - ・現地受付システム
 - ・ハードウェア、ソフトウェア設計、ネットワーク設計
- (3) 結合テスト及び総合テスト
- (4) データ初期設定
- (5) 運営操作マニュアル、取扱説明書作成
- (6) システム操作者への研修
- (7) システム保守・運用支援
- (8) 大会運営支援(受付機器の調達、配送、設置、動作確認、撤収等)
- (9) 上記(1)～(8)の付帯作業

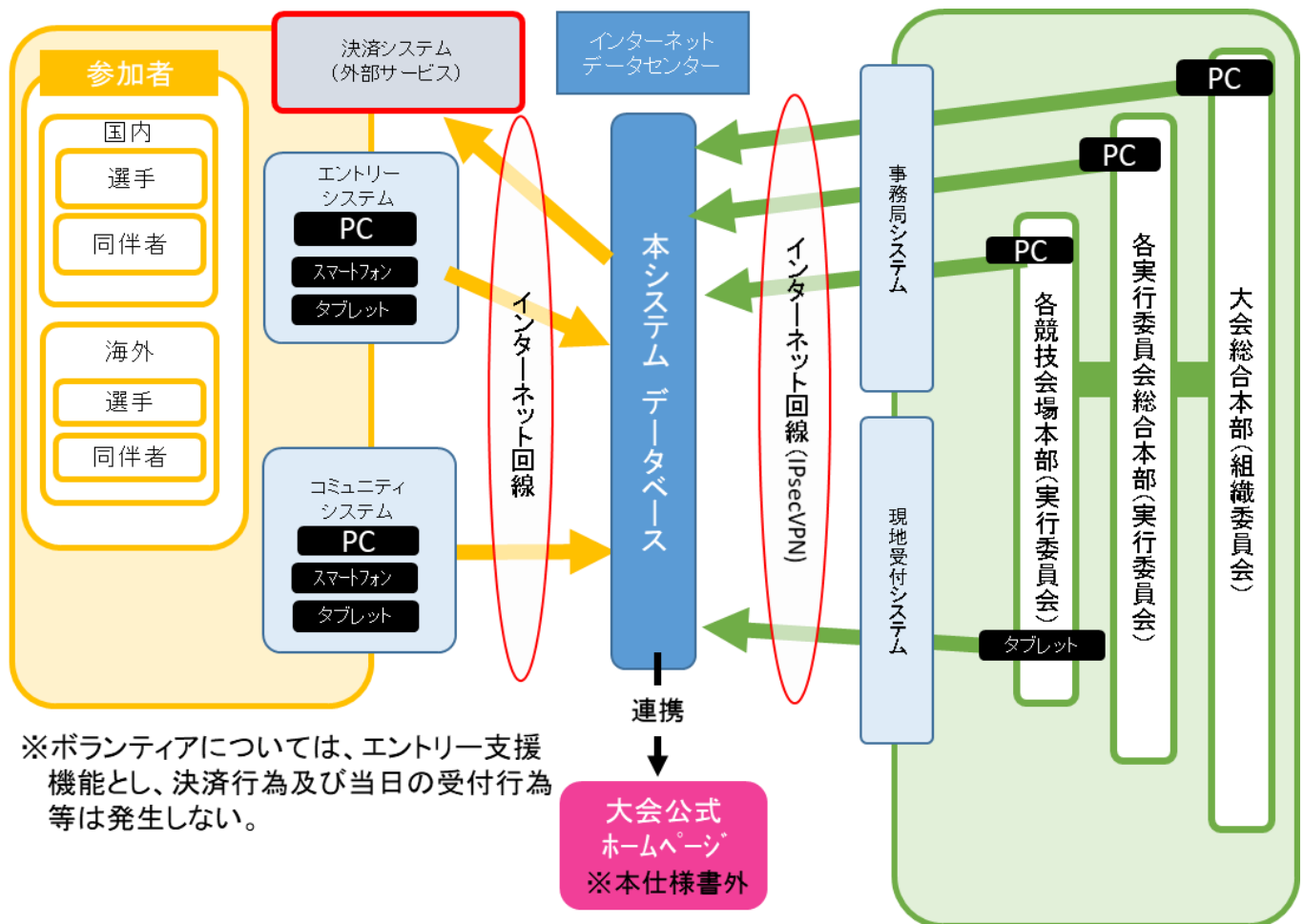
I. 5 システムの概要

(1) システム概要図

本システムは、エントリーシステム、コミュニティシステム、事務局システム、現地受付システムから構成される。また、民間事業者が運営するインターネットデータセンターのクラウド基盤上でサービスを提供するものとし、インターネット回線又は IPsecVPN を利用してシステム利用を可能とする。

国内外の参加者は PC、スマートフォン、タブレットからシステムにアクセスし、大会参加申し込みや情報参照を行う。(同時に複数者がアクセス)

大会当日は 2 府 6 県にある競技会場等にて参加者の受付を行う。(参考：21 頁)



各システムには以下の機能が含まれる。下記のとおり仮定してシステムを分類する。
各機能要件については、「Ⅱシステム機能要件」に記載する。

| No | システム大分類 | システム中分類（システム名称） | システム小分類（機能名称） |
|----|------------------------|-----------------|-----------------|
| 1 | フロントシステム （閲覧者・参加者側） | エントリーシステム | 大会エントリー機能 |
| 2 | | | 競技エントリー機能 |
| 3 | | | ボランティアエントリー支援機能 |
| 4 | | コミュニティシステム | マイページ機能 |
| 5 | | | コミュニティページ機能 |
| 6 | バックシステム （管理者側） | 事務局システム | 入金管理機能 |
| 7 | | | 各種帳票等公開機能 |
| 8 | | | 運営管理機能 |
| 9 | | 現地受付システム | 大会受付機能 |
| 10 | | | 競技受付機能 |

(2) 対象競技

本システムで管理する 32 競技 55 種目は下記のとおり（種別及び障がい者競技数は未定）。

| No | 競技名 | 競技種目名 |
|----|------------|--------------------------------------|
| 1 | アーチェリー | ターゲット |
| 2 | 陸上競技 | トラック&フィールド/競歩/10Km ロードレース/ハーフマラソン/駅伝 |
| 3 | バドミントン | |
| 4 | バスケットボール | |
| 5 | カヌー | マラソン/スラローム/スプリント/ドラゴンボート |
| 6 | 自転車 | マウンテンバイク/トラック/ロードレース/BMX |
| 7 | ホッケー | |
| 8 | サッカー | サッカー/フットサル |
| 9 | オリエンテーリング | ロング/スプリント |
| 10 | ボート | |
| 11 | 射撃 | ライフル/クレ- |
| 12 | ソフトボール | |
| 13 | スカッシュ | |
| 14 | 卓球 | |
| 15 | トライアスロン | トライアスロン/デュアスロン/アクアスロン |
| 16 | ウェイトリフティング | |
| 17 | 野球 | 硬式野球/軟式野球 |
| 18 | ボウリング | |
| 19 | ダンススポーツ | |
| 20 | ゴルフ | |

| No | 競技名 | 競技種目名 |
|----|------------|----------------------------------|
| 21 | ハンドボール | |
| 22 | 柔道 | |
| 23 | 空手道 | |
| 24 | ラグビーフットボール | |
| 25 | セーリング | ヨット/ウィンドサーフィン |
| 26 | 水泳 | 競泳/飛込/水球/シンクロナイズドスイミング/オープンウォーター |
| 27 | テニス | テニス/ソフトテニス |
| 28 | 綱引 | |
| 29 | バレーボール | インドア/ビーチ |
| 30 | テコンドー | |
| 31 | グラウンド・ゴルフ | |
| 32 | ゲートボール | |

(3) システム利用者想定

以下本システムの利用者想定を記載する。

| No | 利用者種別 | 想定利用者数 | 備考 |
|----|-----------|----------|-------------------------------------|
| 1 | 国内・国外参加者 | 50,000人 | IDカード発行あり |
| 2 | 国内・国外同伴者 | 5,000人 | IDカード発行あり |
| 3 | ボランティア | 10,000人 | 名簿管理のみ |
| 4 | 大会総合本部 | 40人 | 本システムにおける操作権限を保持し、全エントリー者の情報の閲覧が可能。 |
| 5 | 実行委員会総合本部 | 250人 | 一部のエントリー者情報の閲覧が可能 |
| 6 | 競技会場本部 | 1,000人 | 一部のエントリー者情報の閲覧が可能 |
| 7 | 大会情報閲覧者 | 100,000人 | 公開サイト情報の閲覧のみ可能 |

(4) 多言語対応

以下機能ごとに多言語対応すること。

| No | 機能名 | 対応言語 |
|----|-----------------|------------|
| 1 | 大会エントリー機能 | 日・英・中（繁・簡） |
| 2 | 競技エントリー機能 | 日・英・中（繁・簡） |
| 3 | ボランティアエントリー支援機能 | 日 |
| 4 | マイページ機能 | 日・英・中（繁・簡） |
| 5 | コミュニティページ機能 | 日・英 |
| 6 | 入金管理機能 | 日 |
| 7 | 各種帳票等公開機能 | 日 |
| 8 | 運営管理機能 | 日 |
| 9 | 大会受付機能 | 日 |
| 10 | 競技受付機能 | 日 |

(5) システム使用デバイス

以下機能ごとの使用デバイスを記載する。

| No | 機能名 | 使用デバイス |
|----|-----------------|------------------|
| 1 | 大会エントリー機能 | PC・タブレット・スマートフォン |
| 2 | 競技エントリー機能 | PC・タブレット・スマートフォン |
| 3 | ボランティアエントリー支援機能 | PC・タブレット・スマートフォン |
| 4 | マイページ機能 | PC・タブレット・スマートフォン |
| 5 | コミュニティページ機能 | PC・タブレット・スマートフォン |
| 6 | 入金管理機能 | PC |
| 7 | 各種帳票等公開機能 | PC |
| 8 | 運営管理機能 | PC・タブレット |
| 9 | 大会受付機能 | PC・タブレット |
| 10 | 競技受付機能 | PC・タブレット |

(6) 受付枠の設定

参加者受付方法は未定であるが、以下の項目が可能なシステム設計にすること。

- ・ 競技種目ごとに国内外の選手枠数をそれぞれ設定できること。
- ・ 各競技の定員を満了した場合はウェイティングリストを作成できること。
- ・ ウェイティングリスト者の抽選が出来ること。

I. 6 スケジュール

履行期限までのシステムの構築及び動作確認テストのスケジュール（案）を提示し、事務局の承認を得ること。データセンター利用期間においても安全で円滑な運用が行えるスケジュールを併せて提案すること。スケジュール作成にあたっては以下の日程（予定）を参考とし、システム稼働に向けて十分な作業工程であるように作成すること。

エントリー期間（参加者）・・・ 2020年2月 ～ 2021年2月

エントリー期間（同伴者）・・・ 2020年2月 ～ 2021年4月

エントリー期間（ボランティア）・・・ 2020年2月 ～ 2021年2月

大会期間（競技開催期間）・・・ 2021年5月15日～2021年5月30日

大会受付期間・・・ 2021年5月12日～2021年5月30日

開会式・・・ 2021年5月14日

閉会式・・・ 2021年5月30日

ヘルプデスク開設期間・・・ 2020年1月～2021年6月

（ メール対応期間：2020年1月～2021年6月
電 話対応期間：2021年3月～2021年5月 ）

II システム機能要件

フロントシステムは多くの人が開覧するシステムは組織委員会が別途運営する大会公式ホームページとデザインを合わせ、閲覧者に違和感を抱かせることのないようにすること。年齢・性別・国籍・障がいの有無等に関わらず、誰もがわかりやすく利用しやすいシステムを構築すること。既存システムをカスタマイズし、開発する場合についても同じこととする。また、バックシステムについても、専門的な知識が乏しい職員でも操作が容易でわかりやすいシステム設計に努めること。

以下のとおり機能要件を仮定として記載する。

II. 1 大会エントリー機能

選手及び同伴者のエントリー受付を行う。(参考：本大会の参加者は選手 5 万人、同伴者登録は 5 千人程度を想定。)すべての登録者に対し、個人ナンバー、マイページ用 ID (個人ナンバーと併用可)、パスワードを発行し、マイページを付与する。(マイページ機能詳細は II. 4 マイページ機能に記載)

登録する項目は、氏名・性別・生年月日・国籍・住所・電話番号・メールアドレス、顔写真、緊急連絡先、その他とする。(登録された顔写真は大会受付時の ID カードに利用される。)画像や PDF 等のファイルアップロードが必要になる項目も想定すること。

また、大会エントリー時に登録された情報は今後、大会運営における各種業務機能において連携することが想定されるため拡張性を持たすこと。当該事案が発生する場合には組織委員会又は組織委員会から承認を受けた者の指示に従うこと。

II. 2 競技エントリー機能

競技は 32 競技、種目は 55 種目、種別及び障がい者競技種目については未定。(個人・団体含む。)競技要項に基づきエントリー項目をシステムに組み込む。(参考：2017 年下期に競技要項第 1 次案が完成予定)入力項目には画像や PDF 等のファイルアップロードが必要になる場合も想定。選手は競技種目を選択後、入金作業を行う。(競技種目により、追加料金が発生する場合あり。)団体競技は個人支払と代表者一括支払いのどちらかを選択できるものとする。選手はエントリー期間中であれば複数の競技にエントリーすることが可能。

また、競技エントリー時に登録された情報は今後、大会・競技運営における各種機能において連携することが想定されるため拡張性を持たすこと。当該事案が発生する場合には組織委員会又は組織委員会から承認を受けた者の指示に従うこと。

II. 3 ボランティアエントリー支援機能

ボランティア登録の受付支援を行う。(本システムでの利用想定者数は 1 万人)

登録者にはマイページ用 ID (個人ナンバーと併用可)、パスワードを発行し、マイページを付与する。(決済行為や ID カード発行等の当日受付行為は本システムでは行わない。)

登録する項目は、氏名・性別・生年月日・国籍・住所・電話番号・メールアドレス、緊急連絡先、従事場所、その他とする。登録項目には画像や PDF 等のファイルアップロードが必

要になる場合も想定。

II. 4 マイページ機能

以下は想定されるマイページ機能の一部である。6項目以外にも有益と思われる機能について、提案を行うこと。

| No | 機能名 | 機能説明 |
|----|------------|--|
| 1 | エントリー状況の確認 | 自身、団体競技におけるチームメンバーの状況の確認 |
| 2 | QRコードの表示 | 受付時等に利用する自身のエントリー情報のQRコード |
| 3 | 決済履歴の確認 | |
| 4 | 領収書の発行 | PDF形式 |
| 5 | 各種会員情報の変更 | 一部の会員情報変更とパスワードの変更・再発行が可能 (パスワード忘却者のための再発行機能含む) |
| 6 | 各種通知機能 | 競技組合せ情報、競技記録結果のアップ情報、大会からの各種情報等を通知させる。(今後、アプリ等の連携も視野にいれて拡張性のある機能とすること) |

※ボランティアエントリー者のマイページ機能は上記 No5, 6 を想定

II. 5 コミュニティページ機能

当該機能は団体競技等におけるチームメンバーやチーム探しを行うツールとする。

利用者(マイページ保持者)は書き込み及び閲覧が自由にでき、利用者同士トラブルなく運用できる比較的簡易な機能を提案すること。(当該機能を組織委員会及び受託者が常時監視することは不要。違反事象等があった場合には受託者は組織委員会と協議により削除などの対応を行うこと。)

また、今後大会広報の一つとしてコミュニティページと既存 SNS や本大会独自機能と連携することを想定し、拡張性を持たすこと。当該事案が発生する場合には組織委員会又は組織委員会から承認を受けた者と協議し決定すること。

II. 6 入金管理機能

2019年9月(予定)に決定する参加料金を設定すること。また、競技種目の特性や参加者自身が選択するオプションを追加することによる料金変動にも対応すること。また、本大会では参加者のキャンセル対応も検討しており、対応が可能なこと。(キャンセル発生時は、各エントリー機能においても情報を連携させ対応することが可能なものとする。)

以下決済手段の条件は以下のとおりとし、入金者と参加者を確実に紐づける機能を有すること。

| No | 参加者種別 | 決済手段 |
|----|-------|--|
| 1 | 国内参加者 | クレジットカード、コンビニ決済、銀行・ネット振込(EDIまたは仮想口座)、pay-easy、PayPal |
| 2 | 国外参加者 | クレジットカード、UnionPay、pay-easy、PayPal |

団体競技の入金については、個人支払と代表者一括支払を選択できることとする。決済処理は、決済代行サービス会社が提供するシステムとの連携を可能にすること。ただし、決済代行サービス会社選定にあたっては、組織委員会と協議し、承認を得ることとする。決済画面ページは日本語、英語、中国語（簡・繁）表示があることを条件とする。また、クレジットカードは下記5社が利用できること。

- ① VISA ②Master Card ③JCB ④American Express ⑤Diners Club

II. 7 各種帳票等公開機能

各実行委員会が大会公式ホームページ（本システムとは別）のページを操作（CMS）し、各種帳票※（又は別リンク先の URL）のアップロードを行い、組織委員会の承認を受け、公開となる。公開後に、エントリー者に対して更新情報の通知をメール及びマイページ（本システム内）にて行う。

よって本システムと大会公式ホームページを連携する必要がある。今後は三者（組織委員会、大会公式ホームページ作成業者、本業務受託者）により、協議を行い、構築を進めていく。

※各種帳票・・・競技関連資料、競技組み合わせ表、競技記録結果等

II. 8 運営管理機能

運営管理機能とし、本仕様書内では以下のとおり機能を分類した。受託者は下記以外にも運用に際して有益となる機能提案を行うこと。また、組織委員会と協議の上新たな機能を追加すること。

| No | システム名称 | 機能概要 | 機能詳細 | 操作権限保持者 |
|----|-----------|--------------------|--|---------|
| 1 | 大会エントリー機能 | エントリー状況確認（アカウント管理） | <ul style="list-style-type: none"> 参加者のエントリー状況を確認できること（入金関連情報についてはこのとおりでない） 参加者を各種条件で検索可能なこと 一覧表、個別表示でデータ出力できること（一覧表は各種条件において並べ替えが可能なこと。罫線等でレイアウトを整えた PDF 帳票も出力できること。） 参加者の登録内容について変更、削除ができること | 組織委員会 |
| 2 | 競技エントリー機能 | 操作権限の付与 | <ul style="list-style-type: none"> システム利用者（組織委員会及び実行委員会、その他両委員会認めた者）に対して、ID・パスを発行し、操作権限の付与ができること | 組織委員会 |

| | | | | |
|---|-----------------|--------------------|---|--------------------------|
| 3 | | 競技エントリー状況の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・競技ページ（権限付与された）のエントリー者情報の閲覧が可能なこと。（入金関連情報については閲覧不可） ・競技エントリー状況を一覧表、個別表示で確認・データ出力ができること（一覧表は各種条件において並べ替えが可能なこと。罫線等でレイアウトを整えた PDF 帳票も出力できること。） ・団体競技のチームメンバーの変更ができること | 組織委員会 実行委員会 開催地市町村 |
| 4 | ボランティアエントリー支援機能 | ボランティアエントリー者の状況の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアエントリー者情報の閲覧が可能なこと ・ボランティアエントリー者状況を一覧表、個別表示で確認・データ出力ができること（一覧表は各種条件において並べ替えが可能なこと。罫線等でレイアウトを整えた PDF 帳票も出力できること。） ・参加者の登録内容について変更、削除ができること | 組織委員会 実行委員会 |
| 5 | マイページ機能 | 各種お知らせ配信機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・対象者を選択してメールマガジンや各種通知が配信できること | 組織委員会 |
| 6 | コミュニティページ機能 | 管理機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・スレッド等へ書き込まれた情報の修正・削除ができること | 組織委員会 |
| 7 | その他 | マスタ管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種マスタの登録・変更・削除ができること | 組織委員会 |

II. 9 大会受付機能

大会当日の受付にてスムーズな対応ができるよう、エントリー者情報と連携する。組織委員会が指定する受付会場にて参加者・同伴者全員に ID カードを即時発行する。（出欠チェック、顔写真付き ID カードを作成できるシステムとする。）また、全参加者の大会受付情報は各会場に設置予定の専用端末 PC で情報が共有できるネットワークを保持すること。下記はイメージフローであり、今後組織委員会と受託者により最善の受付方法を協議の上決定することとする。

前大会のオークランド大会では、全受付工程にかかる時間は一人あたり 1 分～2 分程度であった。よって、本大会でも同等レベルでの受付が可能なこととする。

【参考：オークランド大会での受付フロー及び ID カード仕様】

紙出力及びマイページ内の自身の QR コードを本人が持参し、QR コードを読み取って本人確認し受付を行う。その後シールラベルプリンタより個人識別情報が印字されたシール（白黒、顔写真入り）が出力され、あらかじめ用意されていたプラスチックカード（14.5cm×10cm）に貼り付けて完了。

【フロー】

(1) 本人確認

本人確認書類と QR コード（マイページ内または紙出力）の持参を必須とするが、QR コード紛失忘却者等のイレギュラー事案を考慮して、検索機能を持たせることにより発行を可とする。

(2) ID カード作成

本人提示の QR コードを読み取り、ID カードを即時発行する。（印字される内容については今後変更有。）ID カードの詳細の規格については未定だが、IC チップ等の搭載は不要。ID カード作成会社の利用も可能とする。ID カード作成に係るインクや各種消耗品部品については受託者負担とします。

(3) ID カードと参加者キットを渡す

- ・ ID カード紛失者に対応すべく再発行機能を持たせること。
- ・ ID カード発行履歴（発行時間、発行会場等）を参加者情報に追加していくこと。

(4) その他

- ・ 競技ごと、会場ごとに参加者を一覧表にして紙出力ができること。（出力帳票の詳細については組織委員会と協議の上決定。）
- ・ 操作スタッフには ID・パスを発行し、セキュリティ対策を施すこと。
- ・ 受付機器については、セキュリティ対策を十分に施しておくこと。
- ・ その他有益と思われる機能を提案すること。

II. 10 競技受付機能

競技会場にて、円滑な競技受付を行うべく簡易的なエントリー情報（大会受付機能）との連携を行う。

参加者の QR コードの読み取りを行い、必要項目情報（氏名、年齢、チーム名、グレード等のエントリー基本情報、その他）を各実行委員会が準備する PC 等の端末の Excel 等に出力する機能等を想定。

各競技種目により競技受付方法は異なるため、上記記載事項は案とし、詳細規格については今後検討していくこととする。（競技受付において OA 機器での受付が不要な競技もあり。）

II. 11 その他

(1) 必要に応じてエントリー入力項目には条件を設定しエラーチェック機能を搭載すること。（例：性別を男性で入力したが、女性種目にエントリーした場合など）

(2) ヘルプデスク運営については今回の仕様外であるが、今後組織委員会が別途契約するへ

ルプデスク運営会社と連携をとり、システム構築を行うこと。また、ヘルプデスク開設期間中の利用者からのシステムに関する問合せについても当該業者と連携を取り随時対応すること。対応時間はヘルプデスク開設時間に準じることとする。

- (3) 観光情報、宿泊、その他業務との連動など有益な機能を具体的に提案をすること。
- (4) 今後、組織委員会ではなく実行委員会が運営主体となるデモンストレーション競技大会における競技エントリーにおいても本システムを利用する可能性があることから、拡張性を持たせ安価でカスタマイズができることとする。当該契約においては別途、対象実行委員会と行う。
- (5) 本業務実施に不可分な構成要素があれば、その旨を企画提案書に記述し、本業務の入札価格に含めること。

Ⅲ システム非機能要件

Ⅲ. 1 データセンター

本システムにおけるデータセンターは、日本国内にあることを前提とし、耐震・耐火設備を備えており、情報システムが安定して稼働できる環境であること。JIS Q 27001 又は ISO/IEC 27001 に基づく認証を取得していることを前提に、外部からの侵入者によって本大会の個人情報データ等が危険に晒されることのないよう安全なセキュリティ対策が講じられていること。また、組織委員会よりサーバー室内における監視カメラによる記録データや入退室履歴の閲覧を求めたときは、閲覧が可能なこととする。

利用期間については、I. 6 スケジュールのとおり組織委員会に提案し、承認を受けることにより決定する。

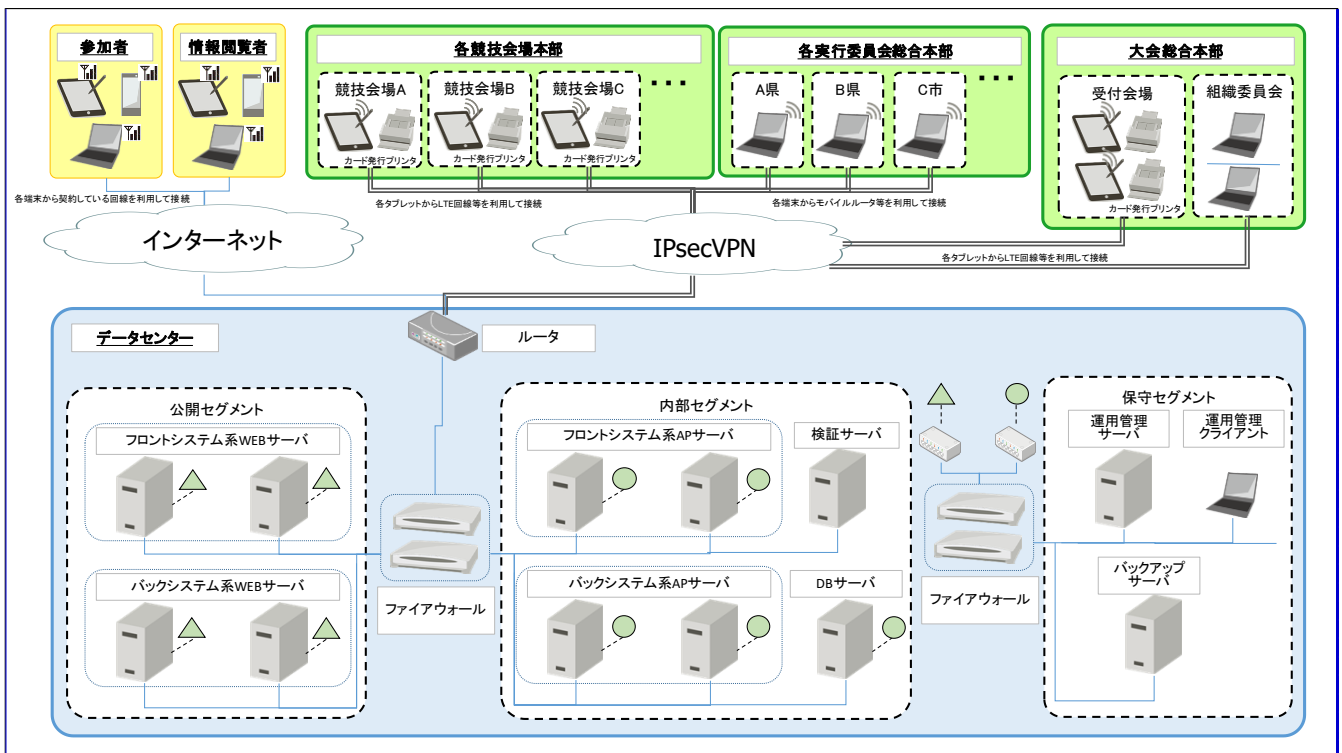
Ⅲ. 2 ネットワーク

本業務で求めるネットワーク要件は以下とする。キャリア回線の利用については、別途組織委員会より回線事業者を指定する可能性あり。回線利用料等その他にかかる経費は受託者の負担とする。

| No | 回線種別 | 最低回線速度 | その他 |
|----|-------------------|-----------------------|---------------|
| 1 | データセンターのインターネット回線 | 1Gbps 以上 | |
| 2 | データセンターと組織委員会間の回線 | ※各実行委員会のインターネット回線に準じる | IPsecVPN にて接続 |
| 3 | データセンターと実行委員会間の回線 | | |
| 4 | データセンターと各会場端末との回線 | ※各社キャリア回線に準じる | |

Ⅲ. 3 システム構成

本システムの構成は下記を参照。図のとおりネットワーク構築を行うこと。



Ⅲ. 4 端末

(1) 端末の種別等について

バックシステムで使用する端末の対応OSは以下とする。以下端末は各本部、各競技会場にて円滑に運営できるスペックを要すること。

最低一種類以上のブラウザに対応することとし、それ以外のブラウザで不具合があった場合は別途協議を行い対応すること。

| No | 端末種別 | 対応OS |
|----|-------|---------------|
| 1 | PC | Windows7、8、10 |
| 2 | タブレット | Android5、6、7 |

(2) 台数及び設置場所について

本業務において大会受付時に利用する端末台数の想定は以下のとおりとする。これらを各会場（21頁：競技種目会場案一覧）に配送・設置をすること。今後、台数に変更になる場合があり、その際は別途協議を行うこととする。物品調達方法は問わない。（レンタル、購入等）

なお、端末にはウイルスソフト対策ソフトを搭載し、定期的にパターンフィルムの更新を行うこと。

| No | 用途 | 端末種別 | 台数 | 設置場所 |
|----|------|------|-------|--------------------|
| 1 | 運営端末 | PC | 延べ80台 | 組織委員会、各実行委員会、各競技会場 |

| No | 用途 | 端末種別 | 台数 | 設置場所 |
|----|-----------|------------|----------|-------|
| 2 | 受付端末 | PCまたはタブレット | 延べ 200 台 | 各競技会場 |
| 3 | カード発行プリンタ | プリンタ | 延べ 200 台 | 各競技会場 |

※運営端末…全参加者の大会受付情報を確認できる機能を保持

Ⅲ. 5 ウェブアクセシビリティ

本システムを利用するすべての人が、心身の条件や利用する環境に関係なく本システムでの情報や機能に支障なくアクセスし、利用できることを目指す。

- (1) 「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016年版）」にて公的機関に対して推奨される JIS X 8341-3:2016 等級 AA の達成を目標とする。達成基準を満たすことが困難な部分については、組織委員会と協議の上決定する。
- (2) 受託者において、JIS X 8341-3:2016 及びウェブアクセシビリティ基盤委員会の示す「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン」に基づく試験を実施し、適用する達成基準の要件を満たすことを確認した上で納品すること。

Ⅲ. 6 セキュリティ対策

本業務の実施過程で知り得た機密情報（大会エントリーの個人情報含む）は以下に留意し十分な漏えい・流出対策、バックアップ対策等のセキュリティ対策が講じられること。また、Web サイトへの悪意に基づく侵入行為や画面の改ざん攻撃への対策が講じられること。

- (1) 個人情報及び機密情報が関連するページにおけるシステムの通信はすべて SSL 暗号化通信とすること。
- (2) 情報セキュリティ製品・システム評価基準（ISO/IEC15408）や情報セキュリティマネジメントシステムの認証基準（ISO/IEC27001）を採用し、参加者等より取得した情報が流出することが無いよう適切な措置を施すこと。
- (3) ユーザー（マイページ保持者及びバックシステム操作者）は個々のパスワードが設定できること。また、パスワード変更が容易に行えること。
- (4) ログインに複数回失敗した場合、入力をロックする機能を有すること。
- (5) オペレーティングシステム等の脆弱性情報に注意し、セキュリティパッチが公開された際は、速やかに動作確認を行った上で適用すること。
- (6) Web アプリケーションを利用する場合、外部からの侵入を防止しプログラムデータ等の改ざんを防ぐこと。
- (7) 機器に障害が生じた場合でも復旧可能となるバックアップ対策を講じること。
- (8) 大会当日における受付で使用される各機器についても、適切なセキュリティ対策を講じること。

Ⅳ 運営サポート

Ⅳ. 1 動作確認テスト

エントリー期間中・大会期間中にトラブル無く円滑に運営できるよう各機能の動作確認

テストを行うこと。ただし、大会受付機能、競技受付機能は本番大会と同じ場所で類似した条件日に通信テストを行うこととする。(特に会場ごとにテスト日を合わせる必要はない。)当該業務にかかる費用は全て受託者の負担とする。

IV. 2 システム保守・運用支援体制

システム保守

- (1) システム不具合の際に、プログラムの修正及びリリースを行うこと。
- (2) システムのバージョンアップを行った場合はリリースを行い、受託者が必ず動作確認をすること。
- (3) 制度改正・規則改正等の変更が生じた際は速やかに組織委員会指示のもと対応すること。
- (4) システムの機能拡充やデータ追加に対応するため、組織委員会からの指示に基づきソフトウェアの保守・改良を実施すること。なお、保守作業のうち、大規模な改修業務が発生する場合は、組織委員会と別途協議の上決定すること。
- (5) システムメンテナンス等で一時的にシステムを停止する場合には、組織委員会との協議により頻度・時刻を決定する。

運用支援体制

- (1) エントリー期間中は組織委員会が別途契約するヘルプデスク運営会社と連携をとり、利用者からのシステムに関する問合せについて随時対応すること。対応時間はヘルプデスク開設時間に準じることとする。
- (2) コミュニティページ機能の運営支援として、利用者及び組織委員会より違反報告等があった場合には受託者の元に通知され、内容を確認した後に削除等の処置を施すこと。
- (3) 組織委員会からの電話や電子メールでの問合せについて一元的な窓口を決め、迅速に対応を行うこと。障害発生時や緊急時等は組織委員会以外の者(実行委員会職員、開催地市町村職員及びその他組織委員会が認める者)からの問合せにも対応すること。当該事案の発生後には事後報告とし組織委員会にもその旨を報告すること。
- (4) 障害発生時や緊急時等における対応方法(夜間を含む復旧作業に取り掛かれるまでの時間、復旧に要する時間等)及びエントリー期間中のサポート体制図を組織委員会に提出し承認を得ること。

IV. 3 教育

本システムの操作研修を下記のとおり実施する。操作研修時には、研修用のテキストを受託者側で用意すること。なお、操作研修会に必要な機材、会場は組織委員会側にて提供する。

なお、下記は予定案とし、今後組織委員会指定の業者との協議により研修を実施すること。

システム研修予定案

| | | |
|---|-----|--|
| 1 | 研修名 | システム運用者向け操作研修 |
| 2 | 対象者 | 約 150 名：システム運用操作者(組織委員会職員・実行委員会職員、その他) |

| | | |
|---|------|--|
| 3 | 研修内容 | システム全般（参加者エントリー操作、事務局側運営操作、当日受付システム操作に関する説明、その他） |
| 4 | 研修回数 | 5回（半日程度）1回/30名 |
| 5 | 備考 | 研修を受けた者（組織委員会職員・実行委員会職員、その他）からのシステムに関する質問等に随時対応すること。 |

IV. 4 大会運営支援

大会本番に向けて、組織委員会又は組織委員会から指示を受けた業者の指示のもと、受付機器及びその他関連機器等を必要数調達し、各会場に配送、設置、動作確認を行うこと。

大会本番期間中、組織委員会本部、各実行委員会本部及び各競技会場でトラブル等が発生した場合、連絡を受けて30分以内に当該現場に立ち合いが可能な体制を整備すること。

本番大会期間中、組織委員会本部にはイレギュラー事案、システム関連の問合せに対応可能なスタッフを常駐させること。（常駐場所については両者の協議の上で決定する。）詳細については、今後組織委員会又は組織委員会から指示を受けた業者による指示に従うこと。

また、障害発生時や緊急時における対応方法（夜間を含む復旧作業に取り掛かれるまでの時間、復旧に要する時間等）及び大会期間中のサポート体制図を組織委員会に提出し、承認を得ること。

V 納入関係

- (1) 受託者は、本システムの開発（操作説明会を含む）を完了させ、本番機器のシステムセットアップを行う。（セットアップ完了日は大会運営に支障をきたさない日とする。）詳細の納入期限については今後両者の協議により決定する。
- (2) 各種文書については、契約締結以降、構築段階に応じて適宜納入すること。
- (3) 紙のサイズはA4を原則とする。図表については、A4版横又はA3版（A4版の大きさに折り込むこと）とすることも可とする。
- (4) 電子媒体は、CD-ROM等とする。文書データは、Microsoft Office2007以降で扱える形式及びPDFで収録することとし、データ作成において特殊なツールを使用する場合は、当該ファイルを閲覧するためのツール1セット（使用権と導入用メディア）を併せて納入すること。
- (5) 各種納品物納期については、組織委員会と協議において全体スケジュールを考慮しながら決定することとする。
- (6) 納入物は以下のとおりとする。
 - ① 業務報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
 - ② プロジェクト計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
 - ③ プロジェクト管理進捗報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
 - ④ システム基本設計書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5部
 - ⑤ システム詳細設計書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5部
 - ⑥ エントリーシステム操作説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5部

| | |
|------------------------------|-----|
| ⑦ コミュニティシステム操作説明書 | 5 部 |
| ⑧ 事務局システム操作説明書 | 5 部 |
| ⑨ 現地受付システム操作説明書 | 5 部 |
| ⑩ エントリーシステム（プログラムソース） | 5 部 |
| ⑪ コミュニティシステム（プログラムソース） | 5 部 |
| ⑫ 事務局システム（プログラムソース） | 5 部 |
| ⑬ 現地受付システム（プログラムソース） | 5 部 |
| ⑭ システム運用実証（動作確認テスト含む）計画書・報告書 | 1 部 |
| ⑮ その他業務にて収集した資料・データ | 1 部 |

VI 特記事項

VI. 1 再委託

受託者は本業務を第三者に委託する場合は、事前に再委託する業務、再委託先、その理由、管理体制及びその他組織委員会が指示する事項を記載した再委託届出書を提出し、組織委員会からの承認を得ること。また、再委託をする場合においても、その最終的な責任は受託者が負うこととする。

VI. 2 システム構築環境

本システム構築に必要となる開発環境の保有、整備などに関する考え方を以下に示す。なお、システム構築環境全般において、情報セキュリティの確保を行い、情報漏えい・紛失等のセキュリティ事故の防止に努めること。

(1) 開発環境

システム構築に必要となるハードウェア・ソフトウェア等の開発環境については、原則受託者の責任において日本国内にて準備すること。ただし、検証工程における検証環境は、組織委員会と受託者が協議の上、組織委員会が所有する機器・ネットワーク等を用いて検証作業を実施することも可能とする。

(2) テストデータの準備

システム構築に必要となるテストデータは原則、受託者の責任において準備すること。

VI. 3 瑕疵担保責任

契約書に定める期間内において、納入したシステムに瑕疵の疑いが生じた場合は、組織委員会が必要と認める場合には、受託者は速やかに不備の内容に関して調査し、回答すること。

調査の結果、納入したシステムに関して瑕疵等が認められる場合には、受託者の責任及び負担において速やかに修正を行うこと。なお、修正を実施する場合においては、修正方法等について、事前に組織委員会の承認を得てから着手するとともに、修正結果について組織委員会の確認を受けること。

VI. 4 知的財産権

- (1) 本業務で新たに開発されたもの（パッケージのカスタマイズ部分を含む）の著作権は原則組織委員会と受託者の両者に帰属することとする。また、著作者人格権については、これを行使しないこととし、再委託による開発があった場合についても同様とする。
- (2) 本システムの稼働に必要なソフトウェアのライセンス（使用权）取得にかかる費用は、すべて本業務に含まれるものとする。
- (3) 本システムの稼働に必要なソフトウェアのライセンス（使用权）は、契約期間終了後、組織委員会に帰属するものとする。
- (4) 受託者が以前より有していた成果物（従前から有していた成果物を改変したものを含む）の著作権は、受託者に帰属するものとする。この場合は、当該成果物についての使用权は、組織委員会が本システムを使用するために必要な範囲を無償で許諾するものとする。
- (5) 組織委員会が本システムを運用するにあたり、受託者は、受託者が保有する知的財産権に基づいて、組織委員会に対して、自ら権利侵害であるとの主張をせず、また、再委託先に権利侵害の主張をさせないことを保証するものとする。
- (6) 受託者は、特許権、著作権等の知的財産権の対象となっている第三者の技術等を使用するときは、その仕様に関する一切の責任を負うこととする。また、それに係わる費用についても受託者が負担すること。

VI. 5 機密保持

本業務の実施過程で知り得た機密情報（大会エントリーの個人情報含む）、組織委員会が開示した情報、その他機密情報について知り得た情報及び組織委員会が作成した情報を、本業務の目的以外に使用、第三者に開示もしくは漏えいしてはならないものとする。また、そのための必要な措置を講じること。

VI. 6 個人情報について

本大会にて収集した参加者・同伴者及びその他の個人情報は、大会終了後に International Masters Games Association (IMGA) に帰属するものである。大会終了後には生涯スポーツの発展と文化・観光における地域創生にあたり組織委員会が認める場合のみ、自治体などの公的機関に引き継ぎ、厳格な管理体制のもとで管理することとし、受託者がこの情報を利用することは一切認めない。

VI. 7 本業務終了後の扱い

本業務の契約が終了した際には、収集した参加者等の個人情報を組織委員会が別途指定する方法により提供すること。提供終了後は当該情報は全て削除すること。

VI. 8 その他

- (1) 本業務にかかる協議は日本語で行い、資料等も日本語で記載すること。
- (2) 業務の実施にあたっては、組織委員会と十分に協議・調整を行うとともに組織委員会が必要と認め、指示した事項については、その指示に従うこと。また、本業務本仕様書に

定めない事項については、組織委員会と協議するものとする。

- (3) 本業務における契約方法（支払い方法含む）については、受託者が正式に決定次第、組織委員会と協議し決定するものとする。
- (4) 受託者は、本仕様書に明示されていない事項で本業務の実施に必要と認められる作業は、組織委員会に報告の上、受託者の責任及び費用負担において実施すること。
- (5) 業務の遂行中に既存の建物、施設、設備等に損傷を与えた場合は直ちに組織委員会に報告するとともに、受託者の責任及び費用負担において速やかに修復すること。

競技種目会場案一覧

| 競技 | 種目 | 参加 予定者数 | 府県政令市 | 市町村 | 競技会場（予定） | |
|------|------------|---------------|-------|-----------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 1 | アーチェリー | ターゲット | 200 | 鳥取県 | 鳥取市 | コカ・コーラウエストスポーツパーク（鳥取県立布勢総合運動公園） |
| 2 | 陸上競技 | トラック&フィールド | 2,000 | 京都市 | — | 京都市西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場・補助競技場 |
| | | 競歩 | 150 | 神戸市 | — | 甲南大学 |
| | | 10Kmロードレース | 900 | 滋賀県 | 彦根市 | 滋賀県立彦根総合運動場 |
| | | ハーフマラソン | 2,500 | 和歌山県 | 上富田町 | 上富田町役場 |
| | | 駅伝 | 600 | 和歌山県 | 田辺市 | 田辺スポーツパーク |
| 3 | バドミントン | 1,500 | 京都市 | — | 島津アリーナ京都（京都府立体育館） | |
| 4 | 野球 | 硬式野球 | 1,400 | 神戸市 | — | あじさいスタジアム北神戸 |
| | | 軟式野球 | 1,100 | 滋賀県 | 守山市、東近江市 | 守山市民球場 |
| 5 | バスケットボール | 2,000 | 神戸市 | — | グリーンアリーナ神戸（神戸総合運動公園） | |
| 6 | ボウリング | 900 | 徳島県 | 徳島市、石井町 | スエヒロボウル | |
| 7 | カヌー | マラソン | 600 | 京都府 | 京丹後市 | 久美浜湾カヌー競技場 |
| | | スラローム | 300 | 徳島県 | 那賀町 | 鷲敷ライン林間キャンプ村 |
| | | スプリント | 300 | 奈良県 | 吉野町 | 津風呂湖周辺施設 |
| | | ドラゴンボート | 2,000 | 滋賀県 | 大津市 | 琵琶湖モーターボート競走場 |
| 8 | 自転車 | マウンテンバイク | 600 | 京都府 | 和束町 | 湯船MTB LAND |
| | | トラック | 500 | 鳥取県 | 倉吉市 | 倉吉自転車競技場 |
| | | ロードレース | 1,100 | 鳥取県 | 倉吉市 | |
| | | BMX | 100 | 大阪府 | 岸和田市 | サイクルピア岸和田BMXコース（岸和田競輪場） |
| 9 | ダンススポーツ | 450 | 和歌山県 | 和歌山市 | 武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ | |
| 10 | サッカー | サッカー | 3,500 | 堺市 | — | J-GREEN堺（堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター） |
| | | フットサル | 2,500 | 堺市 | — | |
| 11 | ゴルフ | 900 | 徳島県 | 徳島市、鳴門市、阿波市、神山町 | 徳島カントリー倶楽部 | |
| 12 | ハンドボール | 640 | 京都府 | 京田辺市 | 田辺中央体育館 | |
| 13 | ホッケー | 600 | 滋賀県 | 米原市、長浜市 | 滋賀県立伊吹運動場 | |
| 14 | 柔道 | 500 | 鳥取県 | 米子市 | 鳥取県立武道館 | |
| 15 | 空手道 | 450 | 京都市 | — | 京都市武道センター | |
| 16 | オリエンテーリング | ロング | 1,500 | 兵庫県 | 養父市、神河町、香美町 | — |
| | | スプリント | 1,500 | 神戸市 | — | しあわせの村 |
| 17 | ボート | 2,000 | 滋賀県 | 大津市 | 滋賀県立琵琶湖漕艇場 | |
| 18 | ラグビーフットボール | 900 | 大阪府 | 東大阪市 | 東大阪市花園ラグビー場 | |
| 19 | セーリング | ヨット | 300 | 和歌山県 | 和歌山市 | 和歌山セーリングセンター |
| | | ウィンドサーフィン | 100 | 和歌山県 | 和歌山市 | |
| 20 | 射撃 | ライフル | 434 | 和歌山県 | 海南市 | 和歌山県ライフル射撃場 |
| | | クレー | 360 | 兵庫県 | （岡山県岡山市） | 岡山県クレー射撃場 |
| 21 | ソフトボール | 2,500 | 滋賀県 | 草津市、守山市、東近江市 | 草津グリーンスタジアム | |
| 22 | スカッシュ | 540 | 京都市 | — | エル・スポーツ京都 | |
| 23 | 水泳 | 競泳 | 2,128 | 神戸市 | — | 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター |
| | | 飛込 | 100 | 兵庫県 | 神戸市 | |
| | | 水球 | 270 | 兵庫県 | 尼崎市 | |
| | | シンクロナイズドスイミング | 180 | 兵庫県 | 尼崎市 | |
| | オープンウォーター | 300 | 大阪府 | 泉南市 | タлуйサザンビーチ（りんくう南浜海水浴場）周辺施設 | |
| 24 | 卓球 | 1,700 | 神戸市 | — | グリーンアリーナ神戸（神戸総合運動公園） | |
| 25 | テコンドー | 500 | 兵庫県 | 姫路市 | 兵庫県立武道館 | |
| 26 | テニス | テニス | 1,128 | 兵庫県 | 三木市、加西市 | ブルボンビーンズドーム（兵庫県立三木総合防災公園屋内テニス場） |
| | | ソフトテニス | 1,840 | 京都府 | 福知山市 | 三段池公園テニスコート |
| 27 | トライアスロン | トライアスロン | 1,250 | 徳島県 | 美波町 | 美波町役場 |
| | | デュアスロン | 500 | 京都府 | 南丹市 | 桂川（大堰川緑地公園）周辺施設 |
| | | アクアスロン | 350 | 徳島県 | 美波町 | 美波町役場 |
| 28 | 綱引 | 600 | 奈良県 | 葛城市 | 葛城市民体育館 | |
| 29 | バレーボール | インドア | 1,600 | 和歌山県 | 和歌山市 | 和歌山ビッグホエール |
| | | ビーチ | 350 | 兵庫県 | 南あわじ市 | 南あわじ市慶野松原ビーチバレーコート |
| 30 | ウエイトリフティング | 440 | 徳島県 | 鳴門市 | アミノバリューホール | |
| オープン | ゲートボール | 720 | 京都府 | 京丹波町 | 京都府立丹波自然運動公園 | |
| | グラウンド・ゴルフ | 672 | 鳥取県 | 湯梨浜町 | グラウンド・ゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」 | |